

# スライドカンファレンス回答

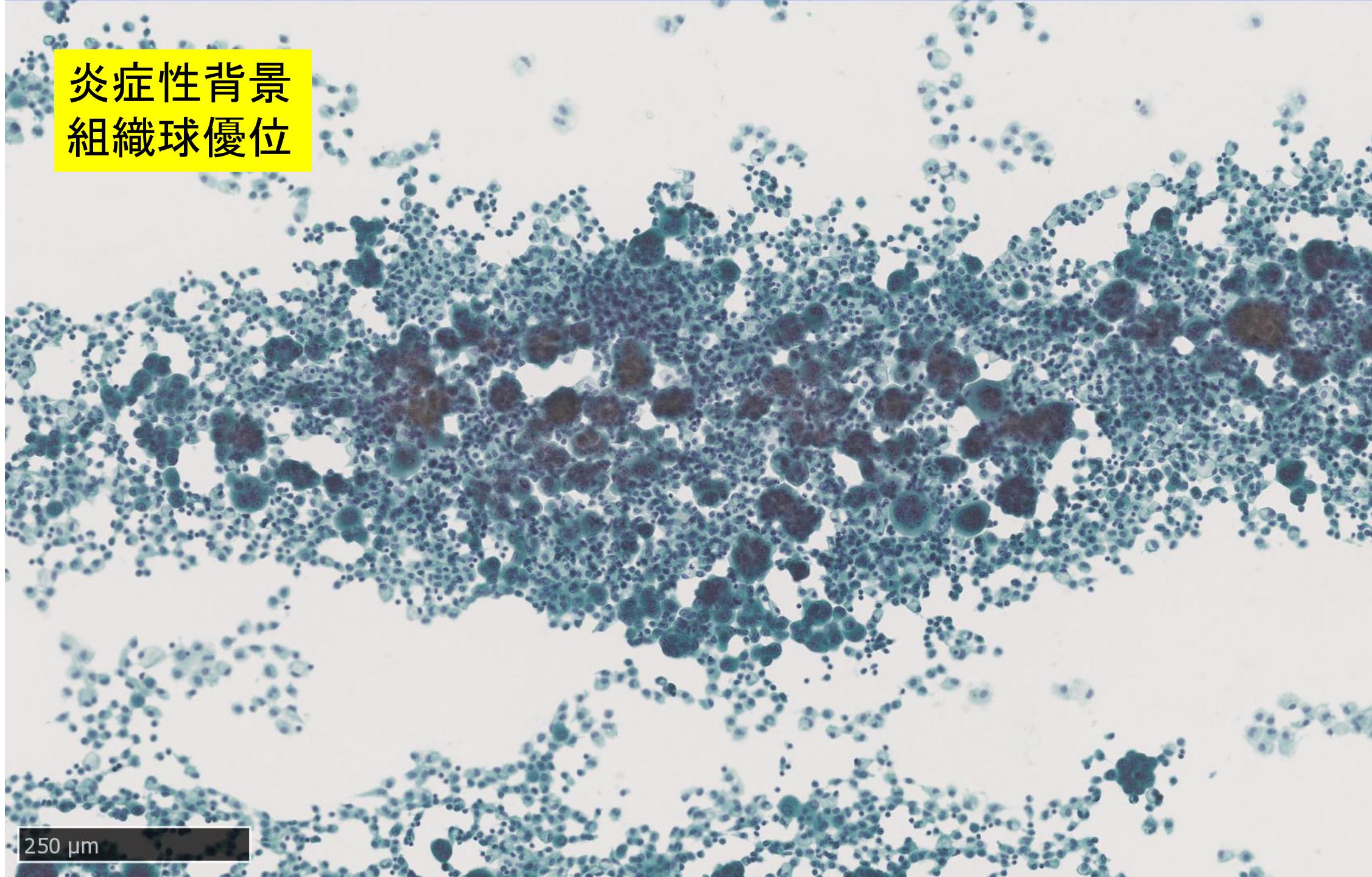
## 2. 体腔液

日本赤十字社和歌山医療センター  
病理診断科部 溝畠知穂

# 症例

- ・検体:右胸水
- ・症例:70歳代、男性
- ・既往歴:C型肝炎
- ・現病歴:約6ヶ月前より呼吸困難出現し、  
2か月前より息切れが悪化。  
右胸水貯留を指摘され、他院より紹介受診。

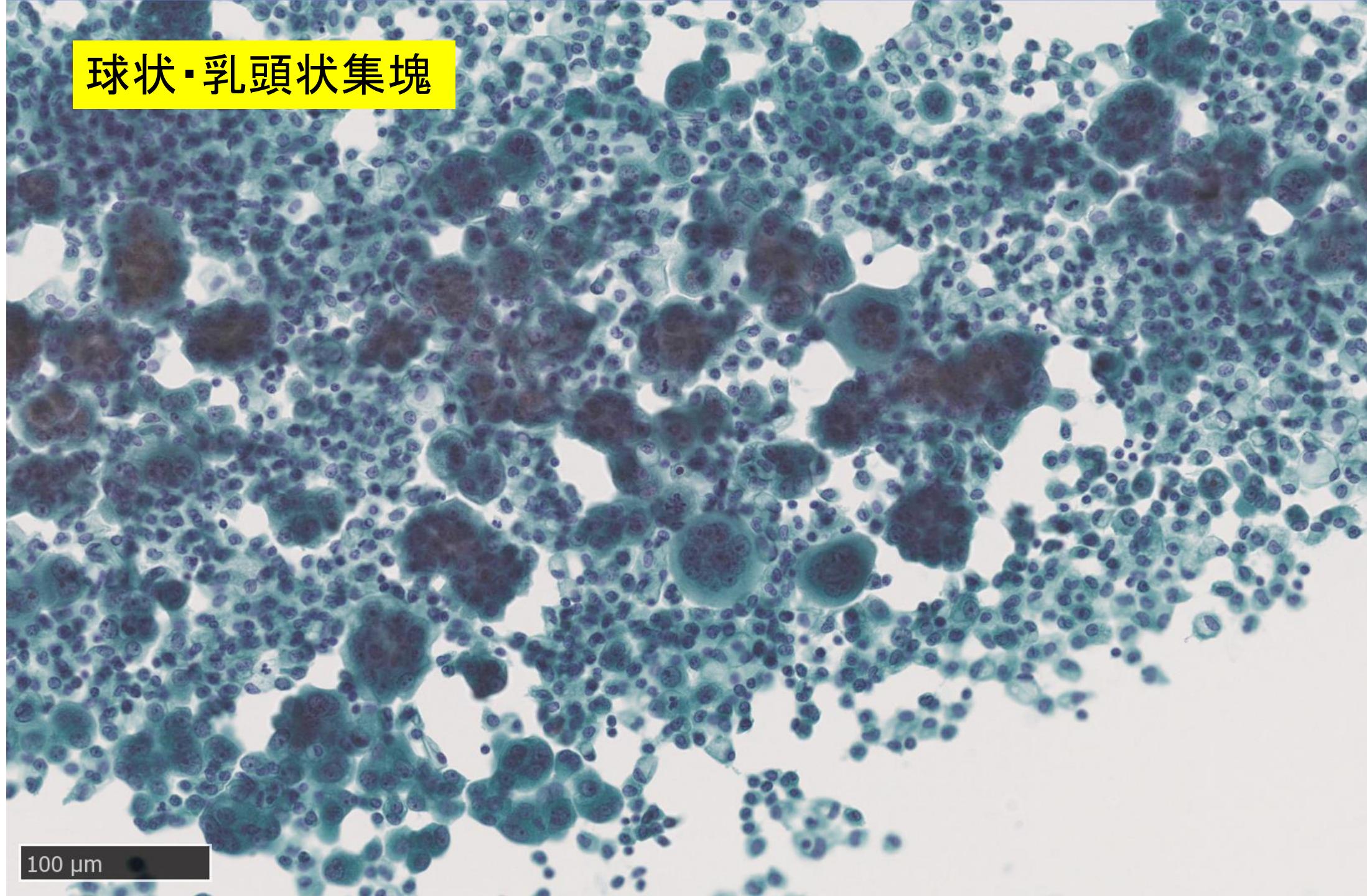
炎症性背景  
組織球優位



250  $\mu$ m

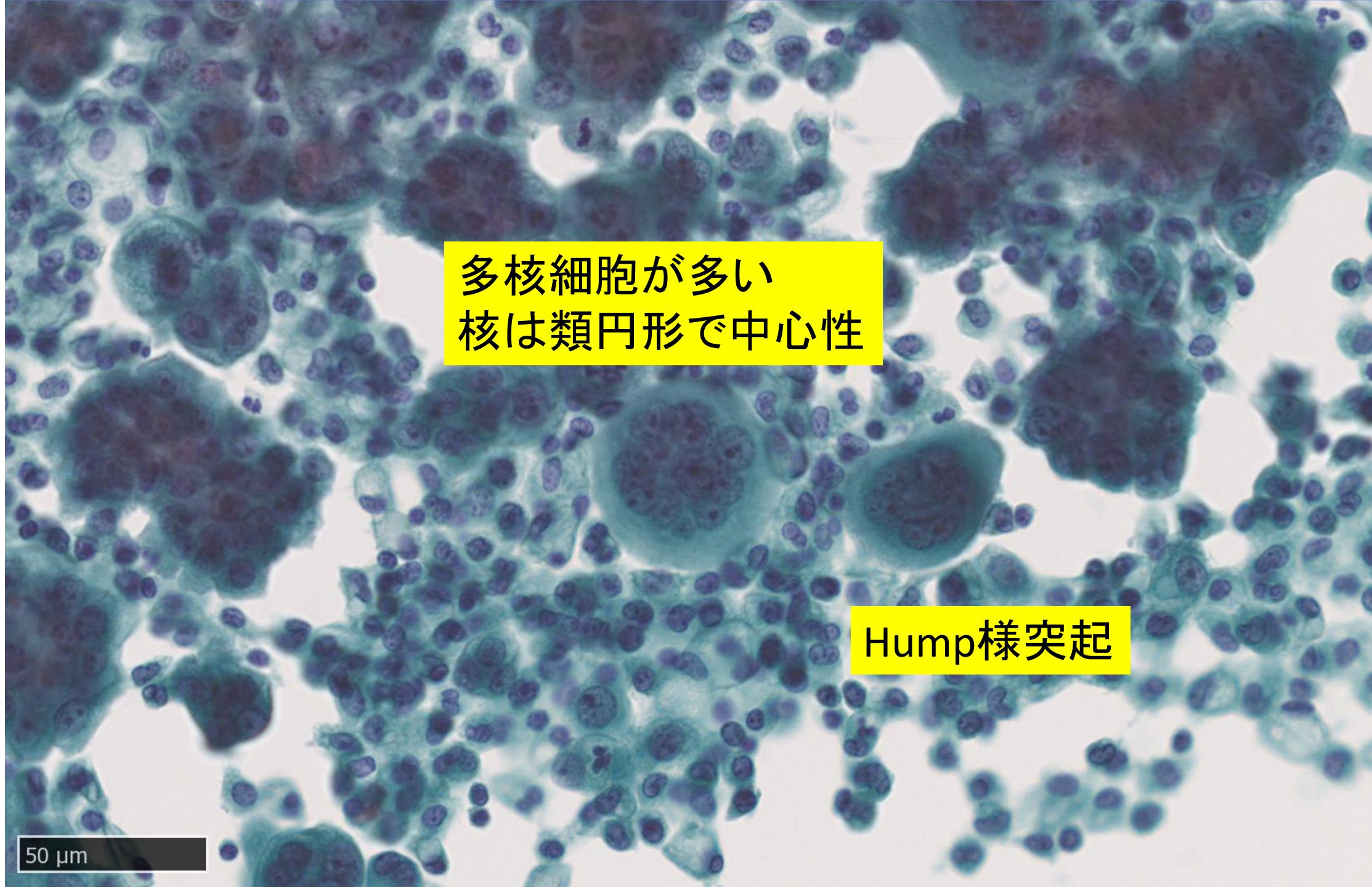
x10

球狀・乳頭狀集塊



100 μm

x20



多核細胞が多い  
核は類円形で中心性

Hump様突起

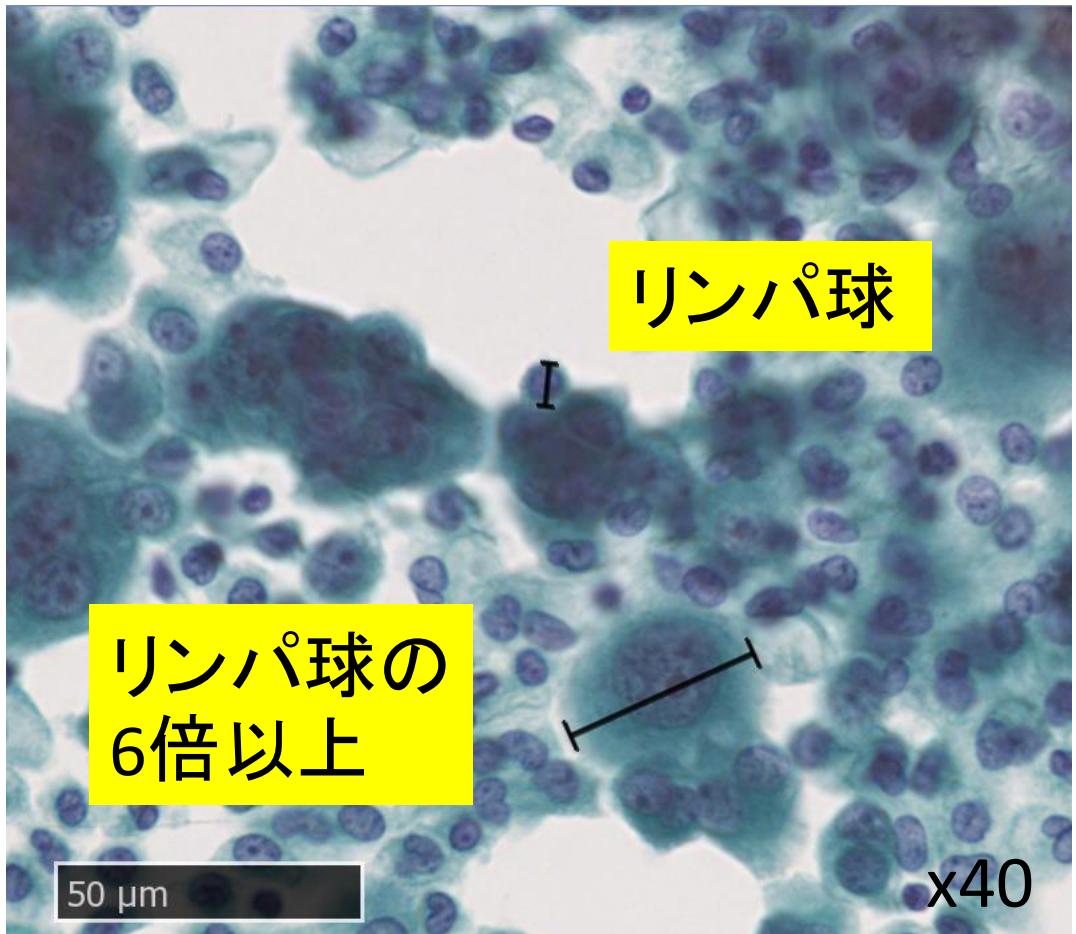
50  $\mu$ m

x40

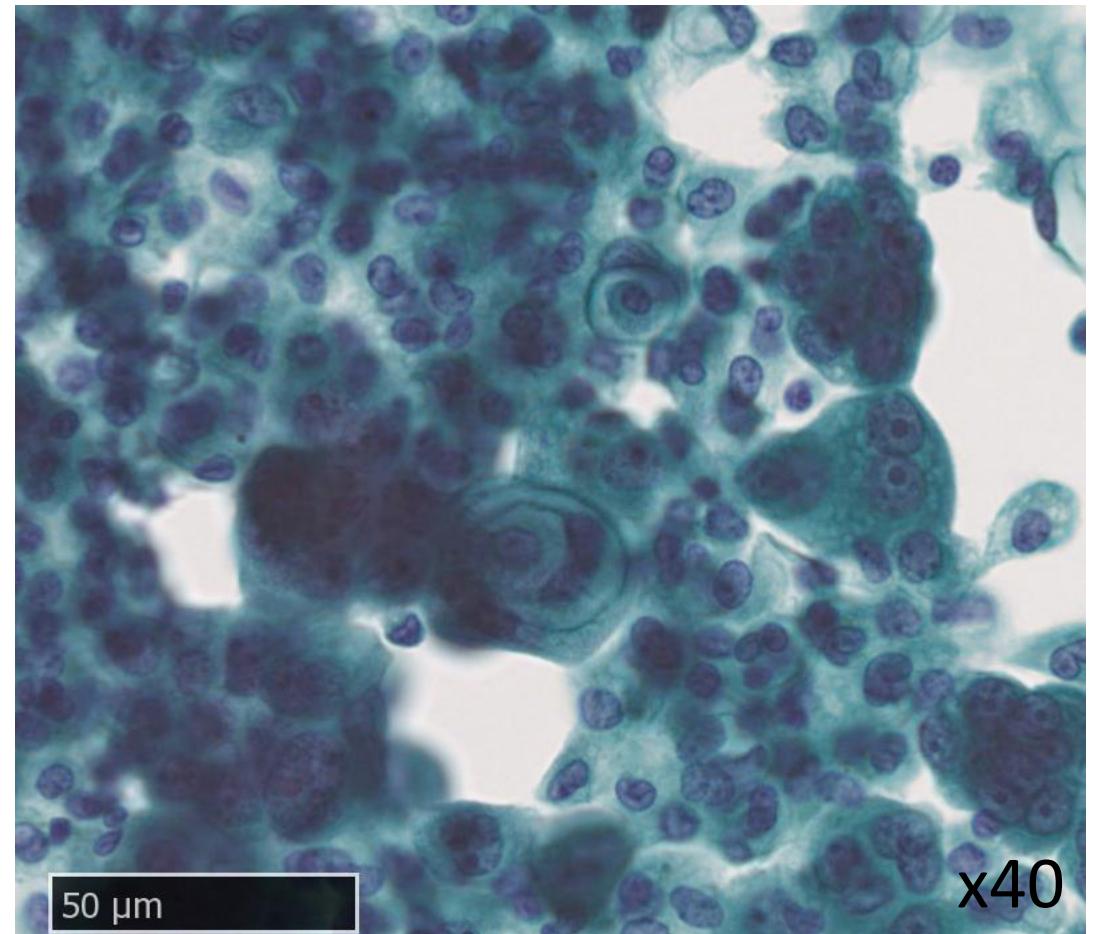
細胞質辺縁不明瞭  
(微絨毛)

50  $\mu$ m

x40

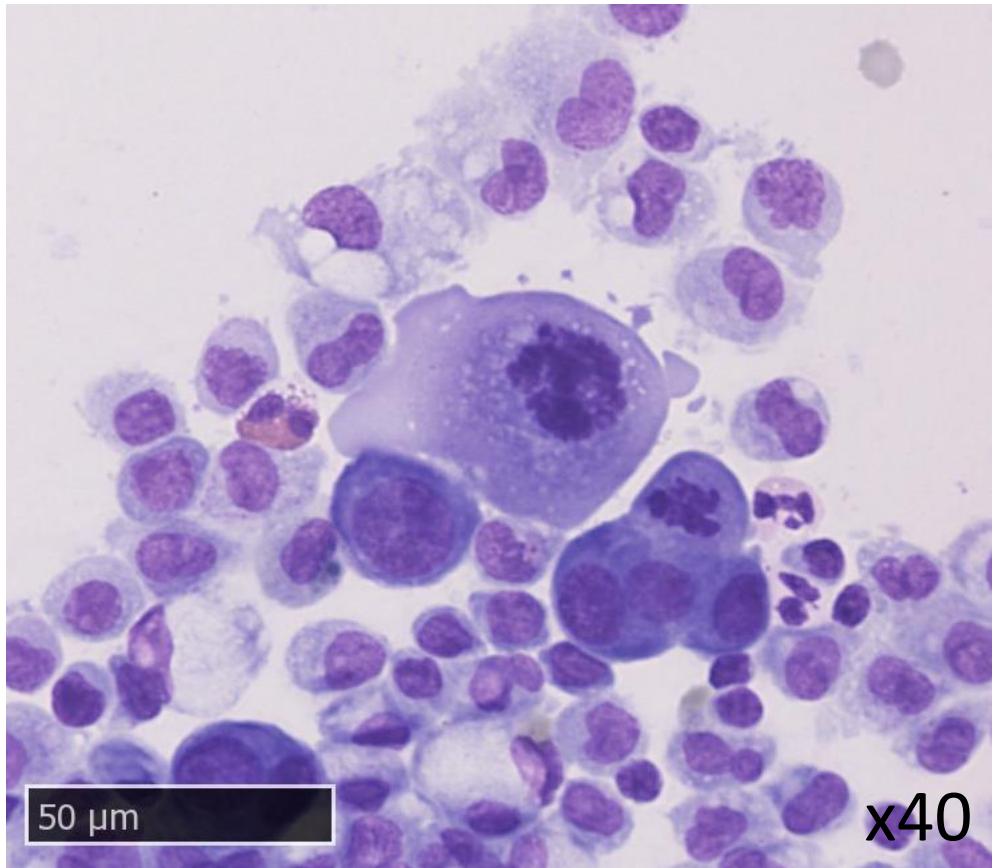


細胞の大きさ

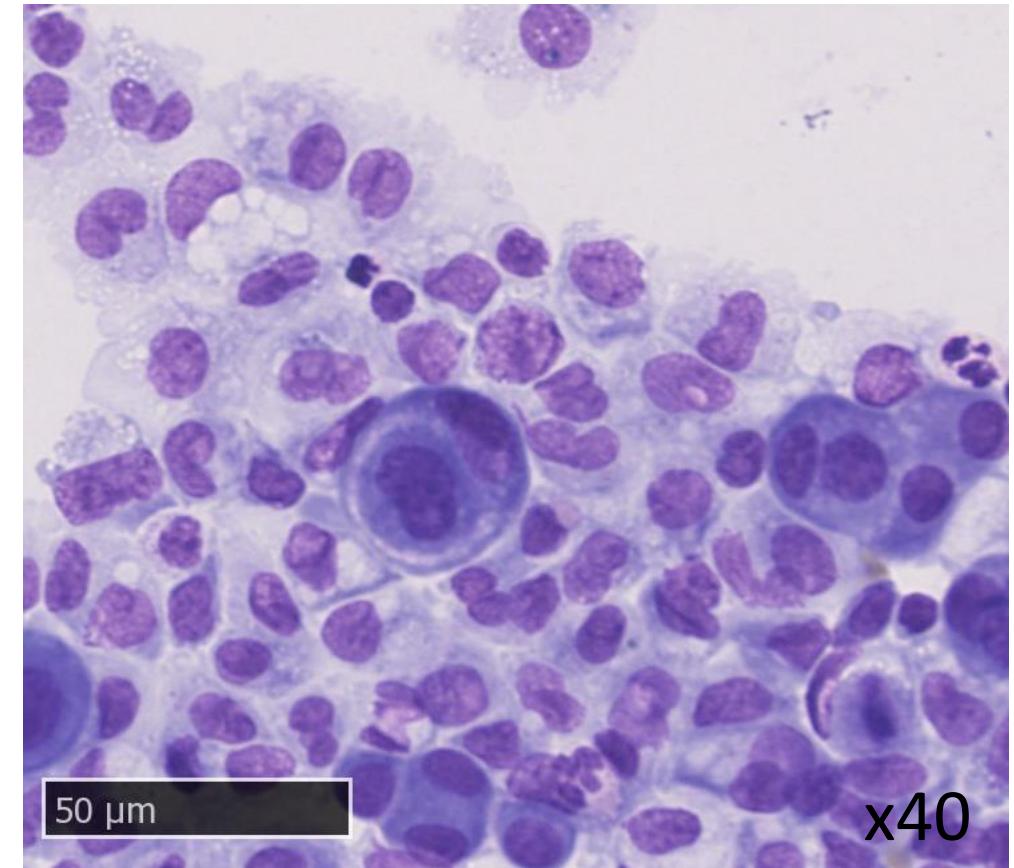


相互封入像

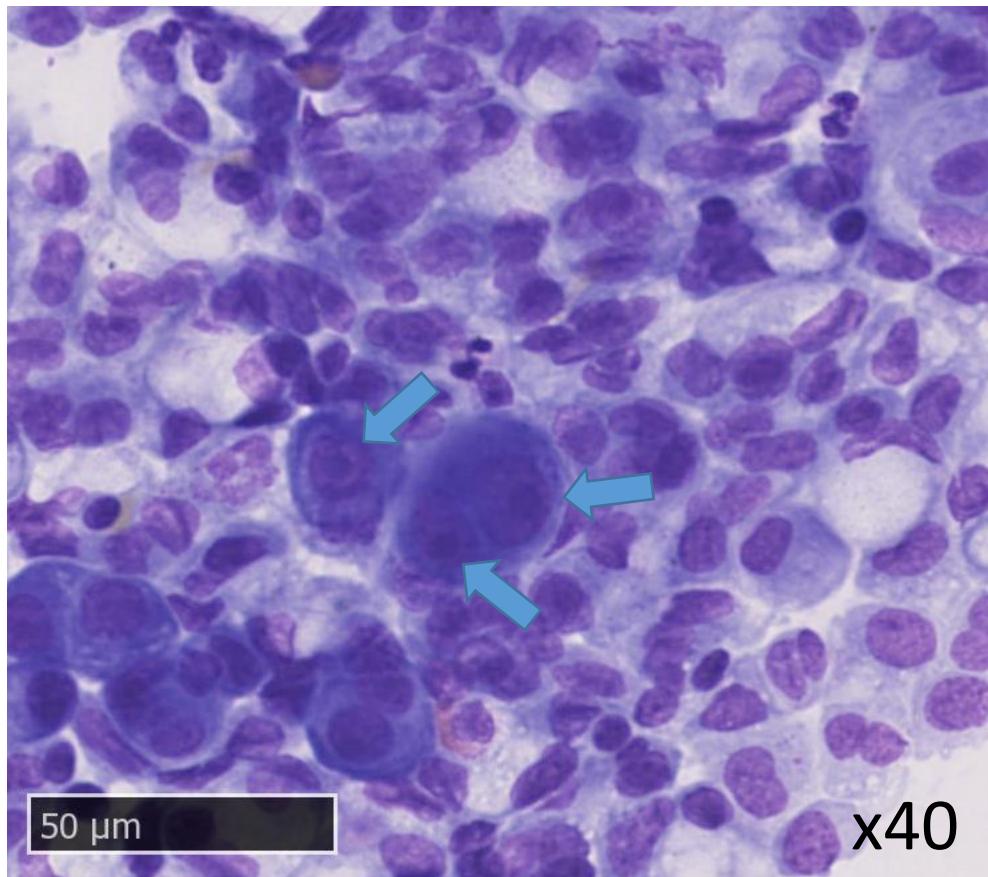
# ギムザ染色



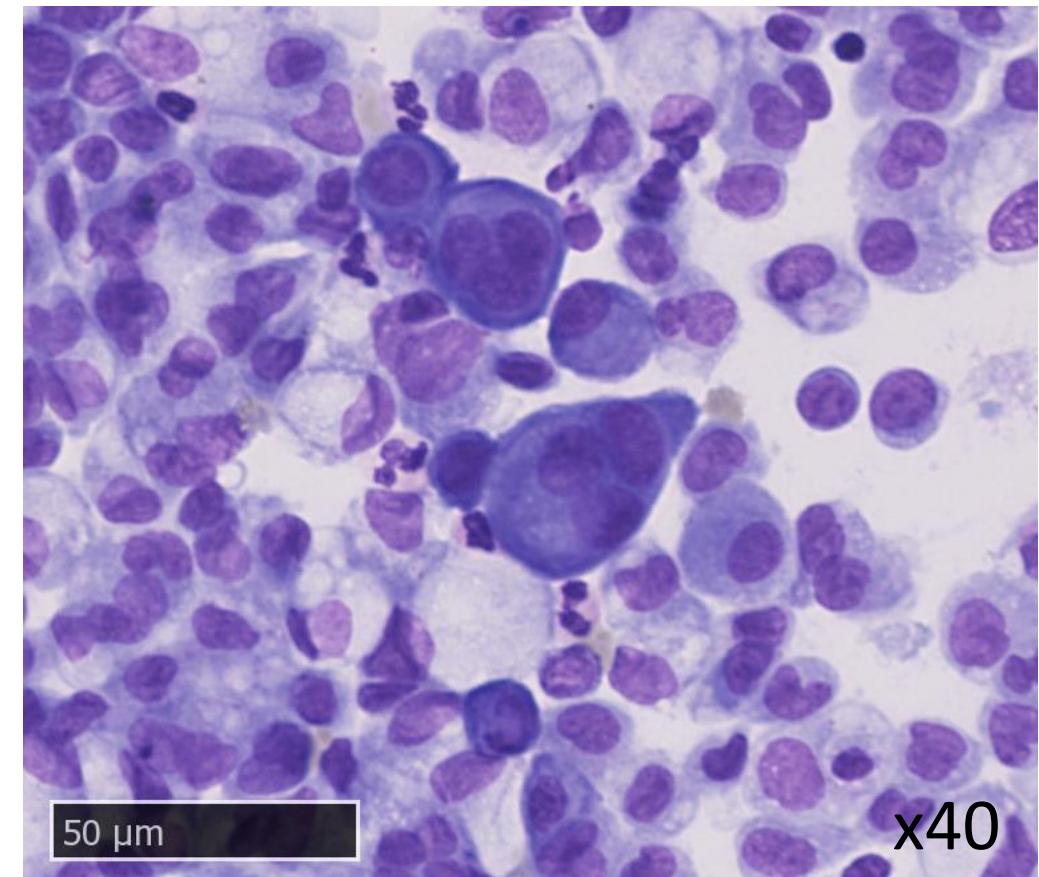
核分裂像



相互封入像



腫大した核小体



Hump様突起

# 所見まとめ

- 背景: 炎症性背景(組織球優位)
- 多数の球状・乳頭状集塊
- 均一感のある多核細胞が多い
- 核は中心性で類円形
- 細胞質辺縁は不明瞭(微絨毛)
- 細胞の大きさがリンパ球の6倍以上
- Hump様突起、相互封入像

# 選択肢

## ①反応性中皮細胞

- 平面的集塊での出現
- 单核細胞が多い

## ②腺癌

- 核は偏在性で核形不整
- 細胞質辺縁は明瞭
- 均一感のない多核細胞
- Hump様突起は少ない

# 選択肢

## ③扁平上皮癌

- ・角化細胞
- ・細胞質辺縁が明瞭
- ・細胞質の重厚感
- ・渦巻き模様

## ④肝細胞癌

- ・索状配列
- ・細胞質内の胆汁色素
- ・硝子様小体

# 選択肢

## ⑤悪性中皮腫

- ・多数の球状・乳頭状集塊
- ・多核細胞の増加
- ・核は中心性で類円形
- ・明瞭な核小体
- ・細胞質辺縁の不明瞭さ
- ・Hump様突起、相互封入像

### 今回の細胞所見

- ・多数の球状・乳頭状集塊
- ・均一感のある多核細胞が多い
- ・核は中心性で類円形
- ・細胞質辺縁は不明瞭(微絨毛)
- ・細胞の大きさ(リンパ球の6倍以上)
- ・Hump様突起、相互封入像
- ・炎症性背景(組織球優位)

ご清聴ありがとうございました。